取扱説明書

PHONAK フォナック life is on

デジタル式補聴器 **オーデオ S YES**

Audéo S YES (イエス) Ⅲ, ⅢP, ⅢSP
Audéo S YES Ⅴ, ⅤP, ⅤSP
Audéo S YES Ⅸ, ⅨP, ⅨSP

はじめに

このたびはフォナック社の補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる方や他の方への危害･財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

⃠ 注意	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

ご使用にあたって

⃠ 禁止

- 音量を大きくしすぎないで下さい。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 補聴器は医療機器ですので、分解や改造はしないでください。
- レントゲン撮影、CTスキャン等の画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前には補聴器を外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。
  またMRIスキャンは強い磁力を用いますので、MRI室に入る前には必ずお外し下さい。
- 過度の湿気や高温な場所は避けて下さい。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。
- 補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水にぬらさないで下さい。（例：お風呂に入るとき）
- 電池は火中に投げ入れないでください。

⚠ 警告

- ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないで下さい。万が一、誤って電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

- 指向性マイクロホンが作動している場合は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
- 補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。
- ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30秒ほど待ってからご使用ください。
- 使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 不要になった補聴器は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 汗、湿気、皮脂、耳垢、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。

ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元にもどすものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調整してお使いください。
- 補聴器はお客さま専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。聴力測定を年に一度はお受けになることをお勧めします。

⚠ 注意

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医にご相談ください。

- 耳の治療中の方、耳の中や耳の後に痛みまたは炎症がある場合
- 過去90日以内に耳だれがあった場合
- 過去90日以内に突発性または進行性の聴力低下があった場合
- 過去90日以内に左右どちらかの耳に聴力低下があった場合
- 急性または慢性のめまいがある方

下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止し、耳鼻咽喉科医または販売店へご相談ください。

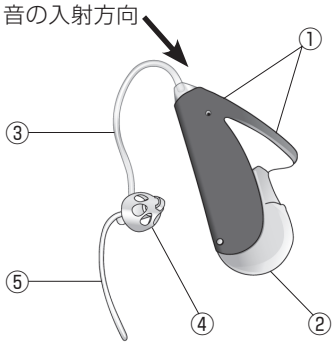
- 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ･湿疹等が出た場合
- 耳だれが出てきた場合
- 耳の治療が必要になった場合
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思える場合

もくじ

各部の名称 ..... 10〜12
電池の交換方法 ..... 13〜14
補聴器の使い方
　電源の入れ方／切り方 15
　補聴器の装用方法 ..... 16〜20
ズームコントロール ..... 21〜23
デュオフォン 24
ワイヤレスアクセサリー（別売） ..... 25〜28
ご使用後のお手入れ方法 29
マイクカバー ..... 29〜30
補聴器の保管 31
初めてお使いになる方に 32
故障かと思われたときは 33
仕様･性能 ..... 34〜39
アフターサービス 41
シンボルマークの説明 42
巻末 プログラム設定表

各部の名称

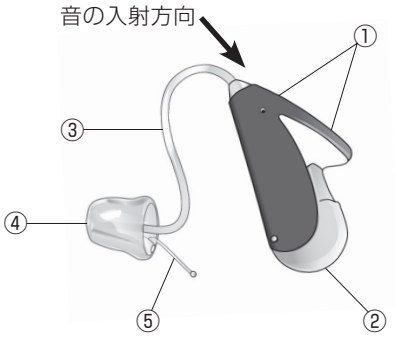
オープン型耳せんの場合



①マイクロホン音口（マイクカバー付）
（音の入口）
②電池ホルダー（電源の入/切機能付）
③xレシーバ（先端が音の出口）
④オープン型耳せん
⑤ストッパー（オプション，パワータイプには使用不可）

電池サイズ：PR41（312）

スリムチップの場合



①マイクロホン音口（マイクカバー付）
（音の入口）
②電池ホルダー（電源の入/切機能付）
③xレシーバ（先端が音の出口）
④スリムチップ（別売）
⑤取り出し用テグス

電池サイズ：PR41（312）

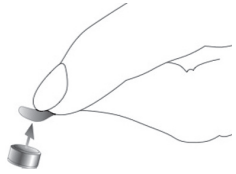
パワーシェル(xシェル)／スーパーパワーシェル(cシェル)の場合

①マイクロホン音口（マイクカバー付）
（音の入口）
②電池ホルダー（電源の入/切機能付）
③xレシーバ（先端が音の出口）
④パワーシェル（xシェル）／スーパーパワーシェル（cシェル）

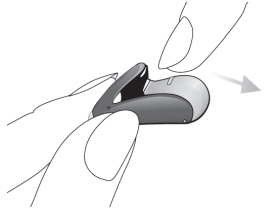
電池サイズ: PR41（312）

電池の交換方法

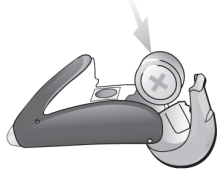
1. 新しい電池の保護シールをはがします。シールが貼ってある側が(+)面です。



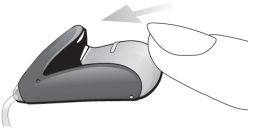
2. 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出します。



3. 新しい電池を入れます。電池の(+)面が図の方向になるように入れます。



4. カチッと閉まるまで、電池ホルダーをゆっくり押します。



⚠ 注意

- 電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。
- 電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池がプラスマイナス逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。
- 補聴器を使用しない場合は、電池ホルダーを開けたまま保管してください。

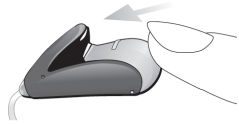
電池寿命お知らせ音

電池がなくなりかけると、お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので,電池を新しいものに交換してください。（電池が完全になくなる約30分前に鳴りますが、リモコンを使用されている場合等補聴器の使用状態によって使用できる残りの時間がさらに短くなる場合があります。）

補聴器の使い方

電源の入れ方

電池ホルダーを閉める



電源の切り方

電池ホルダーを開ける

ポイント

電源を入れると、補聴器にあらかじめ設定された音量とプログラムが起動します。

⚠ 注意

- オーデオ S YESは、電源を入れてから音がでるまで約4秒かかります。スタートアップの遅延が設定されている場合、4秒後に一瞬音が出てから、さらに6秒後または12秒後に動作します。

装用の前に

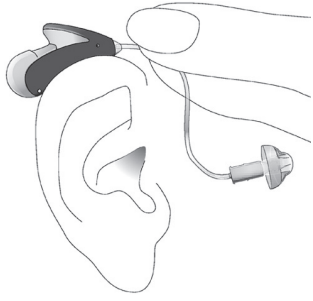
左耳用·右耳用がございますので左右をご確認ください。

左耳用：青色
右耳用：赤色

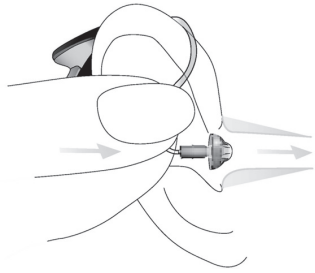
補聴器を耳に装用する方法

オープン型耳せん、クローズド型耳せん、パワー型耳せんの場合

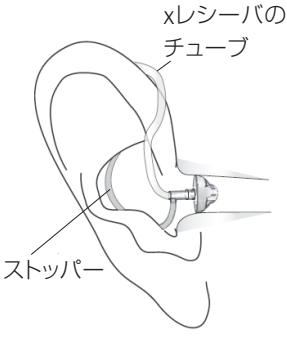
1. 耳の上部に補聴器を
   かけます。



2. 耳せんが付いているチューブを図のように持ち、外耳道に耳せんをゆっくり押し込みます。



3. チューブのストッパーを図のように耳のくぼみに沿うようにはめます。ストッパーが必要でない場合、取り外すことも可能です。お買い求めの販売店にお尋ねください。



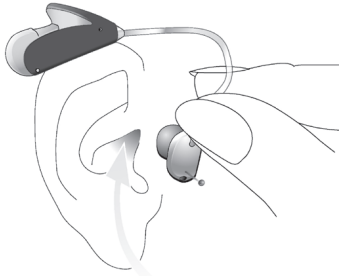
⚠ 注意

- ストッパーが長い場合は、少し切り取ることも可能です。その際、固定できないほど短くしないように十分気をつけてください。
- 耳せんは、xレシーバから外れないように作られていますが、万が一外れた耳せんが耳の中に入ってしまった場合には、すみやかに医療機関にご相談ください。

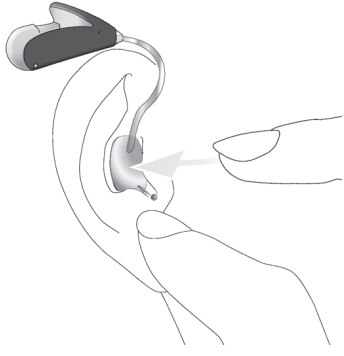
補聴器の装用

スリムチップ、パワーシェル（xシェル）、
スーパーパワーシェル（cシェル）の場合

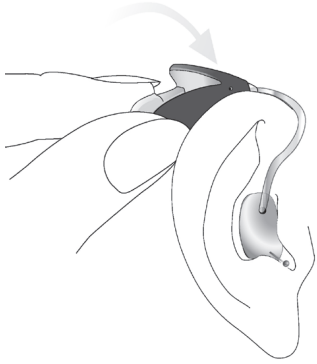
1. xレシーバのチューブ部分を図のように持ち耳の穴に近づけます。



2. スリムチップまたはシェルをゆっくり押し込みます。耳たぶを後方に少し引っぱりながら入れると、入れやすくなります。



3. 補聴器本体を耳の上にかけます。xレシーバのチューブ部分がねじれていないかご確認ください。

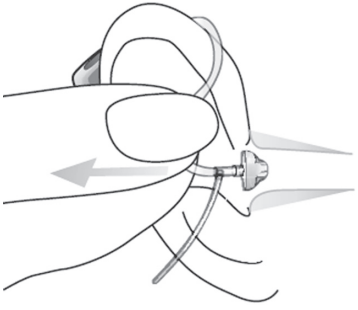


4. 最後に下の図のようにおさまっているか指でなぞってご確認ください。

補聴器を耳から外す

補聴器を耳から外すには、図のようにxレシーバのチューブ部分をつかみゆっくり耳から取り出します。

スリムチップ、パワーシェル、スーパーパワーシェルの場合は取り出し用テグスを使って取り出します。



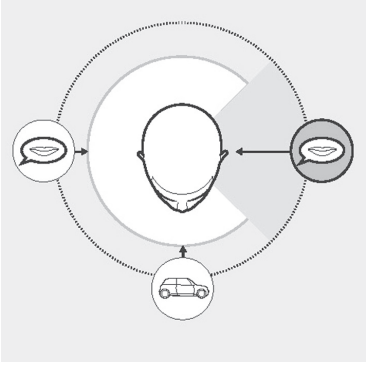
プログラムの切り替えと音量の調節

オーデオ S YES のプログラムの切り替えと音量調節はマイパイロット（別売）もしくはフォナック パイロットワン（別売）によって可能です。

ズームコントロール

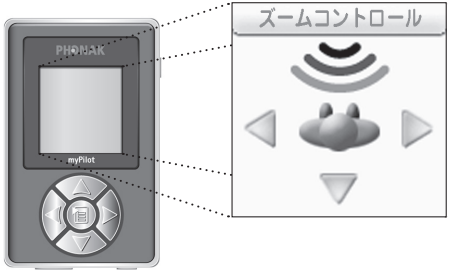
ズームコントロールは、前後左右にある聴きたい音の方向をご自身で選択できる機能です。
例えば、車を運転しているとき、隣の人や後ろの人と会話をするときなど、相手に顔を向けることができないときに便利です。

※ズームコントロールは、両耳装用の場合のみ使用できます。オーデオ S YES Ⅲでは使用できません。オーデオ S YES Ⅸの場合は、自動設定も可能です。どの設定になっているかは販売店にお問い合わせ下さい。



1. マイパイロットによる方向の切り替え

まずマイパイロット（別売）のカラーディスプレイにズームコントロール画面を表示させます。ズームコントロール画面を表示するには、マイパイロットのメニューボタンを押し、メニュー画面でズームコントロールを選択します。ダイレクトモード画面で使用している場合は、マイパイロットのボタン◁▷を同時に押して画面を標準モードに戻してからズームコントロール画面を表示します。詳しくは、マイパイロットの取扱説明書をご参照ください。



ズームコントロール画面が表示されている状態で、マイパイロットの上下左右のボタンを押すことでお好みの方向の音を聞くことができます。

ボタン	切替方向
△	前方向に切り替えます。
◁	左方向に切り替えます。
▷	右方向に切り替えます。
▽	後方向に切り替えます。

2. プログラム選択による方向の切り替え

プログラムの変更によってズームコントロールの方向を切り替えるには、販売店にてあらかじめマニュアルプログラムにズームコントロールを組み込み、聞きたい方向を設定しておきます。マイパイロット（別売）あるいはフォナック パイロットワン（別売）を使ってズームコントロールが組み込まれたプログラムを選択すると、あらかじめ設定された方向に切り替わります。

デュオフォン

デュオフォンは、電話プログラムを使用中に、左右の補聴器から同じ音を出す機能です。例えば、右側で電話の音声を補聴器で聞いている場合でも、左側の補聴器からも同じ音声が聞こえます。両耳で聞くことにより片耳の場合よりも電話の音声を聞き取りやすくなります。

※オーデオ S YES IX 両耳装用の場合のみ使用可能

デュオフォンの操作

販売店にて、あらかじめ補聴器に電話プログラムを設定する必要があります。マイパイロットもしくはフォナック パイロットワンで電話プログラムに切り替えます。右に設定されている場合は、電話のプログラムに切り替えたあと受話器を右側にあてると電話の声が同時に左側にも送信されます。左に設定されている場合は、補聴器を電話プログラムに切り替えたあと受話器を左側にあてると電話の声が同時に右側にも送信されます。

ワイヤレスアクセサリー(別売)

マイパイロット

マイパイロットは双方向通信機能を持ったリモコンです。
次のような機能があります。

- ボリューム操作
- プログラム切り替え
- 日付、時間表示
- マイパイロットの電池残量表示
- 補聴器の使用状態表示
  (ボリュームの位置、プログラム、電池残量)
- ズームコントロール
  (オーデオ S YES Ⅸ もしくはオーデオ S YES Vを両耳装用している場合のみ)
- アラーム

詳しくはマイパイロットの取扱説明書をご覧ください。

図のようにマイパイロット画面を見ながら操作してください。

リモコン操作距離
約50cm 以内

フォナック パイロットワン

フォナック パイロットワンは、補聴器のボリューム調整やプログラム切替ができるリモコンです。

両耳にフォナック パイロットワンが使える補聴器を装用している場合、両耳同時に動きます。リモコン操作距離は、50cm 以内です。詳しくは、フォナック パイロットワンの取扱説明書をご参照ください。

フォナック マイコム

フォナック マイコムは、補聴器と携帯電話やオーディオ機器、FMシステムなどを接続する機器です。

【ブルートゥース接続】
携帯音楽プレーヤー、携帯電話、パソコン、テレビ等のブルートゥースアダプタからの信号を受信し補聴器へ送ります。

【オーディオケーブル接続】
オーディオ機器をケーブルでフォナックマイコムに接続します。オーディオ機器の音楽などが補聴器に送られます。

【FMシステム】
ユニバーサルタイプのFM受信器（MLxi, 別売）を接続することができます。

詳しくはフォナック マイコムの取扱説明書をご覧ください。

アイビュー

アイビューは、学校の先生や保護者の方が子どもの装用状態を確認することができる補聴器読み取り専用のアクセサリーです。読み取りボタンを1回押すだけで、補聴器のプログラムの状態·電池残量·ボリュームの位置がカラーディスプレイ上に表示されます。

詳しくはアイビューの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

- 飛行機内など電子機器の使用が禁止されている場所では、リモコンのご使用はご遠慮ください。

ご使用後のお手入れ方法

1. 補聴器本体から電池を取り出します。

2. ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体と電池についた汗や汚れを拭き取ります。

3. 電池ホルダーの中も湿気があるとさびやすいため、綿棒などで水分を取ってください。

4. 耳あかが音口部にたまると故障の原因となることがあります。付属のブラシで音口部を下に向けて掃除してください。

マイクカバー

マイクカバーは、オーデオ S YESの高機能マイクを埃から保護するように設計されております。

マイクカバーなしでオーデオ S YESを使用されることはご遠慮ください。
マイクカバーは、必要に応じて交換できます。お買い求めの販売店にお尋ねください。

⚠ 注意

- 補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉等）は絶対にご使用にならないでください。
- 水滴が残る危険があるため、耳せんを水で洗ったり、水中に入れたりしないようにしてください。
- 水滴が耳せんに残っていると、音がでない、または補聴器の電気部分が壊れる恐れがあります。
- 耳せんは3ヶ月に1回のペースで交換してください。
- 耳せんは販売店でのみ交換できます。耳に装用している時にxレシーバの先端から耳せんを外さないでください。耳を傷つける恐れがあります。

補聴器の保管

通常の保管方法：
（乾燥ケースを使用される場合）
電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケースに入れてください。

携帯する場合：
電池ホルダーを開けたまま補聴器を専用ケースに入れてください。
長期間補聴器をご使用にならない場合は電池を取り外しておいてください。

⚠ 注意

- 補聴器から必ず電池を取り出してください。
  補聴器から取り出した電池は乾燥ケースに入れないようにしてください。

初めてお使いになる方に

第一段階
初めは静かな家の中などで使用し、補聴器をつけることに慣れて下さい。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

第二段階
静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

第三段階
複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

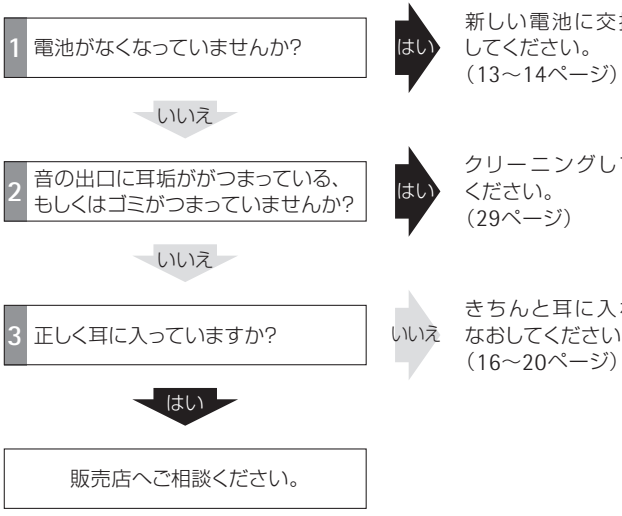
第四段階
慣れてきたら、外で聞く練習をします。

⚠ 注意

- 補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

故障かと思われたときは

補聴器が聞こえづらくなったときは、まず下記のようにお調べください。



仕様・性能

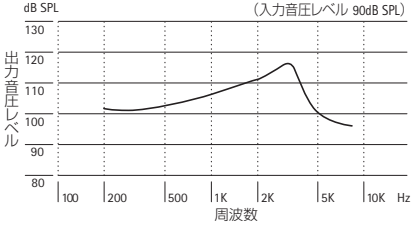
オーデオ S YES Ⅲ
オーデオ S YES Ⅴ
オーデオ S YES Ⅸ

※本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

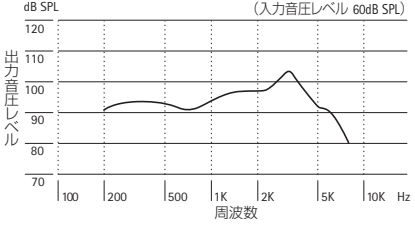
適応聴力範囲	軽中
規準周波数	1600 Hz
最大音響利得	45 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル	111 dB ±5 dB（1600Hz） 122 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ	500 Hz　4.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
電池の電流	1.80 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	90～130時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階

※本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況･気温･温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

90dB 最大出力音圧レベル周波数レスポンス



規準周波数レスポンス



仕様・性能

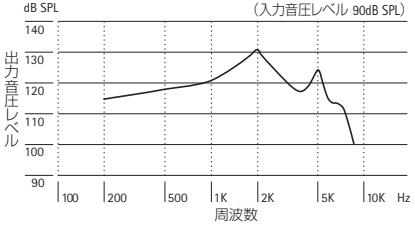
オーデオ S YES Ⅲ P
オーデオ S YES Ⅴ P
オーデオ S YES Ⅸ P

※本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

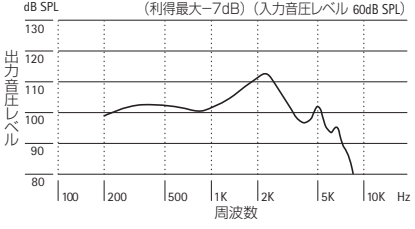
適応聴力範囲	軽中高
規準周波数	1600 Hz
最大音響利得	54 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル	127 dB ±5 dB（1600Hz） 137 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ	500 Hz　4.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
電池の電流	1.80 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	90～130時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階

※本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況･気温･温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

90dB 最大出力音圧レベル周波数レスポンス



規準周波数レスポンス



仕様・性能

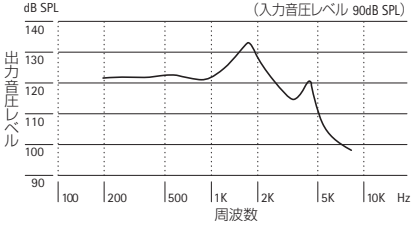
オーデオ S YES Ⅲ SP
オーデオ S YES Ⅴ SP
オーデオ S YES Ⅸ SP

※本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

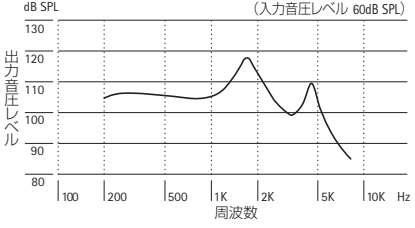
適応聴力範囲	中高重
規準周波数	1600 Hz
最大音響利得	63 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル	133 dB ±5 dB（1600Hz） 139 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ	500 Hz　4.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
電池の電流	1.90 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	90～130時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階

※本カタログに掲載された電池寿命:JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況･気温･温度等の環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

90dB 最大出力音圧レベル周波数レスポンス



規準周波数レスポンス



Memo

アフターサービス

1. 保証書（別途添付）

必ず「販売店名」、「お買い上げ日」、などの記載をお確めになり、大切に保管してください。

2. 修理について

保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

3. その他

アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2011年2月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

※この補聴器は耳を保護する目的で出力 125dB SPL 以下、利得 30dB 以下に設定し出荷いたしております。

シンボルマークの説明

CE 0459	CE 記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器指示文 93/42/EEC とR&TTE 指示文199/5/EC のラジオと通信機器·送信機の基準を満たしていることを示しています。CE 記号に続く番号は、フォナック社に対し指導した公認機関コードを表します。
	この記号は、取扱説明書に載っている製品説明がEN60601-1 のタイプBF に則っていることを表します。
	この記号は、補聴器を使われる人が取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。
	ゴミ箱に×印の記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。

プログラム設定表の使い方

設定表は、販売店が設定したプログラム内容を記入できるようになっています。
（例えば、「電話モード」がどのプログラムに入っているのかがわかります）
また、本設定表は切り離して携帯できますのでご活用ください。

オーデオ S YESのプログラム設定表

プログラム	設定内容	確認音
自動プログラム	サウンドフローによる 自動切り換え	短いメロディー
プログラム 1		“ピ”（・）
プログラム 2		“ピピ”（・・）
プログラム 3		“ピピピ”（・・・）
プログラム 4		“ピポッ”（・・）
プログラム 5		“ピポポ”（・・・）
ミュート		確認音なし

※ 確認音は消すことも可能です。
※※ オーデオ S YES Ⅲ／Ⅲ P／Ⅲ SPはプログラム 3 まで設定可能
オーデオ S YES Ⅴ／Ⅴ P／Ⅴ SPはプログラム 4 まで設定可能
オーデオ S YES Ⅸ／Ⅸ P／Ⅸ SPはプログラム 5 まで設定可能

Memo

販売店名

キリトリ

Memo

Memo

Memo

販売店名

製造販売業
フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田5-2-4 レキシントン・プラザ西五反田
TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）
FAX 0120-23-4080

www.phonak.jp

許可番号 13B2X10021　認証番号 222AABZX00217000

029-1044-17/201102
Printed in Japan ©Phonak AG All rights reserved